

湖北火葬場 湖風苑が完成しました。



南側外観



エントランスポーチ (夕景)

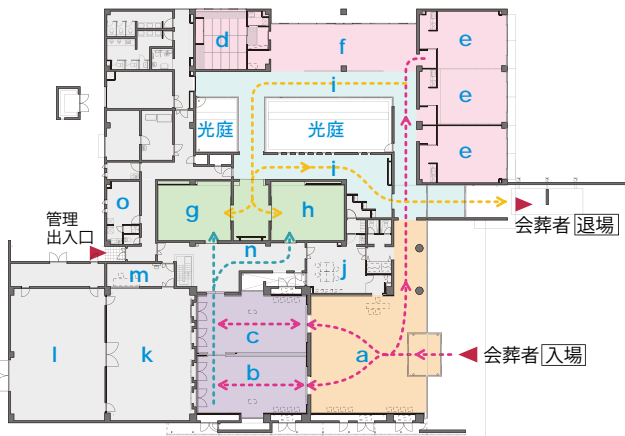


光庭 (水盤)



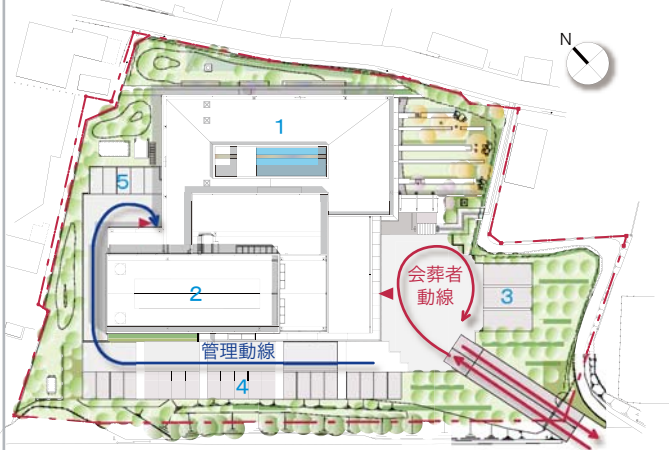
回廊 (退出)

PLAN



1F PLAN S=1:800

- a. エントランスホール
- b. 告別室1
- c. 告別室2
- d. 待合室1 (和室)
- e. 待合室
- f. 待合ロビー
- g. 収骨室1
- h. 収骨室2
- i. 回廊
- j. 事務室
- k. 炉室
- l. 炉機械室
- m. 監視室
- n. 収骨前室
- o. 休憩室



SITE PLAN S=1:1400

1. 待合棟
2. 火葬棟
3. 中型バス駐車場 (3台)
4. 会葬者用駐車場 (21台)
5. 管理用駐車場

写真: アビス

CONCEPT

「周辺環境にとけ込む
低層平屋建ての火葬場」

諏訪湖北岸、八ヶ岳山麓より流れる横河川沿いに面した敷地内の、昭和15年に建設された木造の旧火葬場を稼働しながらの建替整備であった。

周辺の自然環境や住宅地としての街並に配慮し、圧迫感を軽減させる平屋建ての一見火葬場と感ぜさせないシンプルな外観の施設として計画した。

平面計画は火葬集中時にも会葬者が対面しないよう配慮した動線とし、入退場口は別々に設ける計画としている。

またプライベート性の高いお別れ、お見送りを可能とするため、2炉1室型の個別対応の告別室を2室設け、将来の斎時慣習の変化や宗教上の価値観の多様化にも対応できる計画としている。

内部空間は水盤のある光庭やトップライト・ハイサイドライトを効率よく配置し、自然光を積極的に取り込む空間造りを行っている。

DATA

敷地面積	: 5,837.87㎡
建築面積	: 1,937.63㎡
延床面積	: 1,713.61㎡
建ぺい率	: 33.19% (許容60%)
容積率	: 29.35% (許容200%)
構造・規模	: RC、一部SRC造、地上1階
最高高さ	: 8.97m
軒高	: 6.57m
階高	: 6.5m, 4.0m
天井高さ	: 2.7m~5.0m
主なスパン	: 8.0m×6.5m
駐車台数	: 会葬者用21台、管理用4台、 中型バス用3台
設計期間	: 2006.07~2008.02
工事期間	: 2008.05~2009.12

TOPICS

「歴史の継承と地域性への配慮」

旧火葬場の解体木材の一部を外観を特徴づける格子ルーバーとして再生し、瓦を外構の景観舗装材として再利用する等、歴史の継承に努めた。また内部空間には地場産材の漆仕上げを採用することで、地域性に配慮した新しい公共施設の在り方を目指している。



格子ルーバー

瓦小端立

▶ <http://www.nissoken.co.jp>